

2015 7.14

日刊工業新聞

大古精機80周年 宇都宮で記念式

【宇都宮】大古精機（栃木県さくら市、大古秀子社長、028・682・3161）

は、宇都宮市の宇都宮グランドホテルで「創業80周年記念式典」を開催し、取引先や協力企業、同社員、OBら約150人が集まった。

大古社長は式典で「1935年に創業者の大古敬徳氏により東京・大井町で大古製作所として産声を上げて以来、ゲージ製造の技

を磨き続けてきた。当時の氏家町（現さくら市）に本社工場を移したのが60年。バブル経済の崩壊や金融危機、東日本大震災など多くの苦難を経験した」と振り返った。

その上で「震災直後は）自宅の復旧を後回しにしてまで、工場の片付けに集まってくれ、ありがたかった」と社員に感謝の気持ちを述べた。また「13年に全法人の1%程度にしか与えられない優良申告法人認定を地元税務署から受けた」と話し、人材教育を柱に地域の模範企業として「100年企業」を目指す決意を新たに示した。



式典であいさつする大古社長